

猫の飼育方実用書

著者 安田大介

第1話…迎え入れ初日～1週間の過ごし方……………	4
第2話…安心できる居場所作り（寝床・ケージ・隠れ家）……………	9
第3話…トイレの教え方と失敗時のリカバリ……………	16
第4話…ごはんの選び方（年齢・体格・体調）……………	25
第5話…お水をしっかりと飲ませる工夫……………	34
第5話…お水をしっかりと飲ませる工夫……………	40
第6話…社会化と「怖い」を増やさない接し方……………	46
第7話…甘噛み・噛み癖の基本対策……………	52
第8話…鳴き声・夜鳴きの原因別アプローチ……………	60
第9話…留守番の練習（分離不安の予防）……………	66
第10話…お散歩／運動の適量と遊び方……………	73
第11話…ブラッシング・被毛ケアのコツ……………	80
第12話…爪切り・肉球・手足を触れる練習……………	87
第13話…耳・目・歯のケアを習慣化する……………	93
第14話…ニオイ対策（トイレ・体臭・部屋）……………	101
第15話…誤飲誤食の防止チェックリスト……………	107

第16話…季節の注意（暑さ寒さ・湿度）	114
第17話…来客・子ども・他の動物との付き合い方	118
第18話…多頭飼いのコツ（先住優先・相性）	127
第19話…ストレスサインの見つけ方	132
第20話…病院が苦手な子の通院練習	143
第21話…ワクチン・予防・定期健診の考え方	149
第22話…シニア期の暮らし（段差・食事・運動）	156
第23話…肥満予防と体重管理（簡単ルール）	166
第24話…問題行動の「前兆」をつぶす観察術	173
第25話…災害対策（キャリー・避難・備蓄）	179
第26話…写真・動画で健康を記録する方法	187
第27話…家計管理（フード・医療・保険の配分）	193
第28話…保護／譲渡の前に知っておくこと	200
第29話…飼い主のメンタルケア（罪悪感・不安）	206
第30話…総まとめ…我が家のルールブック作成	216

第1話…迎え入れ初日〜1週間の過ごし方

ようこそ、猫との生活へ🐱 この連載では、猫との暮らしをより豊かに、そして猫自身も幸せに過ごせるように、具体的な知識とノウハウをお届けします。初回は、猫を迎え入れた最初の1週間、特に重要な過ごし方について解説します。この期間の過ごし方が、その後の猫との関係性を大きく左右すると言っても過言ではありません。ぜひ、最後まで読んで、愛猫との最高のスタートを切りましょう。

✓ 今日の結論

猫を迎え入れた最初の1週間は、猫に安心感を与え、新しい環境に慣れさせることに集中しましょう。無理に触れ合おうとせず、猫のペースに合わせて、安全な隠れ場所と必要な物を用意することが重要です。焦らず、じっくりと時間をかけて、信頼関係を築いていきましょう👉。

💡 なぜこの問題が起きるのか

猫が新しい環境にすぐに慣れないのには、いくつかの理由があります🐾。

- ・環境の変化への不安…猫はテリトリー意識が強く、見慣れない場所や匂いに強いストレスを感じます。

- ・警戒心…初めて会う人間や動物に対して、警戒心を抱くのは自然なことです。
- ・過去の経験…過去に辛い経験をした猫は、新しい環境に慣れるのに時間がかかることがあります。
- ・音や匂い…新しい家の様々な音や匂いに猫が過敏に反応してしまうことがあります。
- ・生活リズムの違い…新しい家の生活リズムに猫が慣れるまで時間がかかることがあります。

これらの要因が重なり、猫は不安やストレスを感じ、警戒心を解くことができずに、隠れてしまうことがあります。無理に触ろうとすると、さらに警戒心を強めてしまう可能性があるので注意が必要です🙌。

✂ 具体的なやり方・コツ

猫が安心して新しい生活をスタートできるよう、具体的な方法とコツを紹介します📝。

➡ 準備を万端に

- ・安全な隠れ場所の確保…ケージや段ボール箱など、猫が安心して隠れられる場所を用意しましょう📦。
- ・必要な物の準備…フード、水、トイレ、爪とぎ、ベッドなど、猫に必要な物を事前に揃えておきましょう🛏️。
- ・部屋の安全確認…危険な物（コード、薬品など）は片付け、脱走防止対策も忘れずに🔒。
- ・猫が落ち着ける空間作り…静かで落ち着いた場所を選び、猫がリラックスできる環境を整えましょう🧘。

2 迎え入れ当日

- ・静かに迎え入れる…大きな音を立てたり、騒いだりせず、静かに迎え入れましょう🐱。
- ・ケージに入れる…まずはケージに入れ、猫が落ち着くまでそっとしておきましょう。
- ・自己紹介…優しく穏やかな声で、猫に話しかけましょう。「○○だよ。これから一緒に暮らすんだよ」など、簡単な言葉でOK👍。
- ・猫のペースを尊重…猫がケージから出てくるまで、無理に引きずり出したり、触ったりしないようにしましょう。
- ・ご飯と水の設置…猫がいつでもご飯と水にアクセスできるように、ケージの中または近くに設置しましょう。

3 最初の数日間

- ・そっと見守る…猫が隠れていても、無理に構わず、そっと見守りましょう👁️。
- ・匂いをかがせる…飼い主の匂いがついたタオルなどをケージの中に入れてあげると、安心感を与えることができます。
- ・話しかける…猫に気づかれないように、優しい声で話しかけ続けましょう。
- ・おもちゃで誘う…猫が興味を持ちそうなおもちゃで、少しずつ遊びに誘ってみましょう。レーザーポインターや羽根つきの棒などがおすすめです🌟。
- ・トイレの場所を教える…猫がトイレを探している様子であれば、トイレの場所に誘導してあげましょう。
- ・撫でる…猫が近づいてきたら、優しく撫でてあげましょう。最初は頭や顎の下など、猫が嫌がらない場所から触るのがコツです。

1週間後

- ・探検させる…猫が落ち着いてきたら、少しずつ行動範囲を広げて、家の中を探検させてあげましょう。
- ・遊び時間を増やす…猫との遊び時間を増やし、コミュニケーションを取りましょう。
- ・ブラッシング…ブラッシングは、コミュニケーションの一環としてだけでなく、猫の健康管理にも役立ちます。
- ・根気強く…猫が完全に慣れるまでには、時間がかかることもあります。焦らず、根気強く接していきましょう。

チェックポイント

迎え入れ初日からの1週間、以下の点をチェックして、猫が安心して過ごしているか確認しましょう。

- ・食事…きちんとご飯を食べているか？
- ・排泄…トイレは問題なくできているか？
- ・睡眠…安心して眠れているか？
- ・行動…隠れてばかりいないか、少しずつ探索行動が見られるか？
- ・呼吸…呼吸が荒くなっていないか、落ち着いているか？

・体調…下痢や嘔吐はないか🤢？

・鳴き声…異常に鳴いていないか、落ち着いているか🔊？

もし、気になる点があれば、早めに獣医さんに相談しましょう🐾。

⚠️よくある失敗と注意

猫を迎え入れた最初の1週間で、よくある失敗と注意点を紹介します🚩。

- ・構いすぎ…猫が隠れているのに、無理に抱っこしたり、追いかけ回したりするのはNG🙅。
- ・大きな音…大きな音を立てたり、急に大きな音を出したりすると、猫を驚かせてしまうので注意しましょう🔊。
- ・無理なスキンシップ…猫が嫌がっているのに、無理に触ろうとするのはやめましょう🙅。
- ・他のペットとの接触…先住動物がいる場合は、最初から接触させず、徐々に慣らしていくようにしましょう🐾。
- ・環境の変化…家具の配置を頻繁に変えたり、模様替えをしたりするのは、猫にとってストレスになることがあります🏠。
- ・食事の変更…急に食事内容を変えると、猫が消化不良を起こすことがあるので、徐々に変更するようにしましょう。
- ・脱走…玄関や窓から猫が脱走しないように、しっかりと対策しましょう🔒。

- ・放置…猫を放置しすぎると、寂しさから問題行動を起こすことがあります。適度なコミュニケーションを心がけましょう🐱。
- ・焦り…猫が新しい環境に慣れるまでには時間がかかることを理解し、焦らず見守りましょう🦋。

1分まとめ

猫を迎え入れた最初の1週間は、猫にとって非常に重要な期間です。安心できる隠れ場所を用意し、猫のペースに合わせて、新しい環境に慣れさせることが大切です。無理に触れ合おうとせず、そつと見守り、優しく話しかけることで、猫との信頼関係を築いていきましょう。焦らず、じっくりと時間をかけて、愛猫との素敵な生活をスタートさせてください🐱💖。

第2話…安心できる居場所作り（寝床・ケージ・隠れ家）

猫との生活、楽しいですよね🐱💖でも、猫が安心して過ごせる環境って、意外と奥が深いです。今回は、猫がリラックスできる寝床、安全なケージ、そしていざという時の隠れ家について、徹底的に解説します。猫も人も快適に過ごせる空間作り、一緒に目指しましょう🐾✨

今日の結論

猫が安心できる居場所を作るには、

- ・猫の性格と好みを理解すること
 - ・安全で快適な環境を用意すること
 - ・猫がいつでも自由に使えるようにすること
- この3つが重要です。

 なぜこの問題が起きるのか

猫が落ち着かない、隠れてばかりいる、あるいは粗相をしてしまう… そんな時は、もしかしたら居場所が原因かもしれません。

- ・縄張り意識…猫は縄張り意識が強い動物です。自分のテリトリーに安心できる場所がないと、不安を感じてしまいます。
- ・警戒心…臆病な猫や、新しい環境に慣れていない猫は、身を隠せる場所がないと常に警戒してしまいます。
- ・ストレス…騒音や人の出入りが多い場所では、猫はリラックスできません。
- ・寝床の不満…寝床が汚れていたり、居心地が悪かったりすると、猫はそこを避けるようになります。
- ・ケージへの苦手意識…ケージを無理やり閉じ込めたり、嫌な思い出と結びついたりすると、ケージを嫌がるようになります。
- ・多頭飼育…他の猫との相性が悪い場合、自分の居場所を確保できずにストレスを感じることがあります。
- ・病気や怪我…体調が悪いとき、猫は安全な場所に隠れようとします。

これらの問題を解決し、猫が安心して過ごせる居場所を作つてあげることが大切です。

✿ 具体的なやり方・コツ

猫が安心して過ごせる居場所を作るための具体的な方法とコツをご紹介します🏠💡

1. 寝床の選び方と設置場所

- ・素材…猫はふわふわした素材や、体温を保てる素材を好みます。フリース、タオル、猫用ベッドなどがおすすめです。
- ・形…ドーム型、箱型、ハンモックなど、様々な形があります。猫の好みに合わせて選びましょう。
- ・大きさ…猫が丸まって方向転換できるくらいのが大きさが目安です。
- ・場所…静かで、人の出入りが少ない場所に設置しましょう。日当たりの良い場所や、高い場所も猫は喜びます。
- ・複数設置…猫は気分によつて寝る場所を変えたいことがあります。複数の寝床を用意してあげると、より安心できます。
- ・清潔さ…寝床はこまめに掃除し、清潔に保ちましょう。猫はきれいな動物です。

2. ケージの選び方と使い方

- ・猫が楽に立ち上がり、方向転換できるくらいの大きさが目安です。
- ・素材…プラスチック製や金属製などがあります。掃除のしやすさや耐久性を考慮して選びましょう。
- ・扉…猫が出入りしやすいように、大きな扉があるものがおすすめです。
- ・設置場所…静かで、人の出入りが少ない場所に設置しましょう。
- ・使い方…
 - ・普段からケージに慣れさせる…おやつやおもちゃをケージの中に置いて、猫が自ら入るように促しましょう。
 - ・ケージを安心できる場所に…ケージの中に猫のお気に入りのタオルやベッドを置いて、くつろげる空間を作りましょう。
 - ・無理強いはいしない…猫が嫌がる場合は、無理やりケージに入れないようにしましょう。
 - ・災害時の備え…災害時など、緊急時に猫を安全に避難させるために、ケージは必要です。

3. 隠れ家の作り方

- ・段ボール箱…猫は段ボール箱が大好きです。いくつか用意して、自由に使えるようにしておきましょう。
- ・キャットタワー…高い場所に登れるキャットタワーは、猫にとって善い隠れ家になります。
- ・家具の裏…ソファやベッドの下など、猫が隠れられるスペースを作つてあげましょう。
- ・洗濯物入れ…意外かもしれませんが、洗濯物入れも猫にとっては隠れ家になります。
- ・ポイント…

- ・複数の隠れ家を用意する…猫は気分によって隠れる場所を変えたいことがあります。
- ・隠れ家の中には、猫のお気に入りのおもちゃを置いておく…安心できる匂いがすると、よりリラックスできます。
- ・隠れ家を無理に覗かない…猫が隠れているときは、そっとしておきましょう。

4. 多頭飼育の場合の注意点

- ・個別のスペースを確保…それぞれの猫に、個別の寝床、トイレ、食器を用意しましょう。
- ・パーソナルスペースの尊重…猫同士が一定の距離を保てるように、家具の配置などを工夫しましょう。
- ・相性…猫同士の相性を見ながら、無理に仲良くさせようとしないようにしましょう。
- ・高い場所の確保…高い場所は、猫にとって安全な場所です。キャットタワーなどを設置して、猫が自由に使えるようにしましょう。

5. 環境の変化への対応

- ・新しい家具…新しい家具を置いたときは、猫が匂いを嗅いだり、登ったりする時間を与えましょう。
- ・模様替え…模様替えをするときは、猫の寝床やトイレの位置を大きく変えないようにしましょう。
- ・引っ越し…引っ越しは猫にとって大きなストレスです。引っ越し後しばらくは、猫が安心して過ごせるように、元の環境を再現してあげましょう。

・新しい家族…新しい家族が増えたときは、猫が徐々に慣れていくように、時間をかけて引き合わせましょう。（または「対面させましょう」）

チェックポイント

猫の居場所を作る上で、以下の点をチェックしてみましょう 

- ・寝床は清潔で、猫が **3R1H** できる素材ですか？
- ・寝床の場所は、静かで落ち着ける場所ですか？
- ・ケージは猫にとって安全で、安心できる場所ですか？
- ・隠れ家は複数あり、猫が自由に使える状態ですか？
- ・多頭飼育の場合、それぞれの猫に個別のスペースがありますか？
- ・環境の変化に対して、猫はストレスを感じていませんか？

よくある失敗と注意

猫の居場所作りでよくある失敗と注意点です 

- ・無理強い…猫が嫌がることを無理強いしないようにしましょう。
- ・騒音…テレビや音楽の音量を大きくしすぎないようにしましょう。
- ・匂い…強い香りの洗剤や芳香剤は、猫にとってストレスになることがあります。
- ・清潔さ…猫のトイレや寝床は、こまめに掃除しましょう。
- ・放置…猫が隠れているときは、そっとしておきましょう。
- ・過干渉…猫がリラックスしているときは、そっとしておきましょう。
- ・人間の都合…人間の都合で猫の居場所を変えないようにしましょう。
- ・危険物…猫が口にすると危ないものは、手の届かない場所に置きましょう。
- ・コード類…電気コードなどをかじらないように、カバーをつけたり、配線を整理したりしましょう。
- ・植物…猫にとって有毒な植物は、置かないようにしましょう。

1分まとめ

猫が安心して暮らせる居場所作り、いかがでしたか？


今回のポイントは、

- ・猫の性格と好みを理解する
- ・安全で快適な環境を用意する
- ・猫がいつでも自由に使えるようにする

この3つでしたね。

猫にとって、安心できる居場所は、心の拠り所です。猫がリラックスして過ごせるように、愛情を込めて環境を整えてあげましょう。

第3話…トイレの教え方と失敗時のリカバリ

猫さんとの生活で、トイレ問題は避けて通れませんか。今回は、猫さんが快適にトイレを使ってくれるように、トイレの教え方から、もし失敗してしまった時の対処法まで、詳しく解説していきます。猫さんも飼い主さんも、ストレスなく過ごせるように、一緒に学んでいきましょう。

今日の結論

猫にトイレを教えるには、猫が安心して使えるトイレ環境を整え、根気強く教えることが大切です。失敗しても決して怒らず、原因を特定して改善しましょう。

 なぜこの問題が起きるのか

猫がトイレを失敗するのには、様々な理由があります。原因を知ること、適切な対策を立てることができます。

 環境要因

- ・トイレの場所が悪い（騒がしい、人通りが多いなど）
- ・トイレが汚い
- ・トイレの数が足りない（猫の数に対して）
- ・トイレの形状や素材が気に入らない
- ・猫砂の種類が合わない

 健康要因

- ・膀胱炎や尿路結石などの泌尿器系の病気
- ・便秘や下痢などの消化器系の病気
- ・関節炎などの痛み

ストレス要因

- ・引っ越しや模様替えなどの環境の変化
- ・新しい家族（人や動物）の加入
- ・騒音や工事などの外的要因
- ・飼い主さんの注意不足や愛情不足

行動要因

- ・スプレー行為（縄張り主張）
- ・トイレの場所を覚えていない（子猫の場合）
- ・過去のトラウマ（トイレで嫌な経験をした）

これらの要因が複雑に絡み合って、トイレの失敗につながることがあります。

具体的なやり方・コツ

猫にトイレを教えるための具体的な方法と、成功するためのコツをご紹介します。

トイレ環境の整備

- ・静かで落ち着ける場所に設置する（食事場所や寝床から離れた場所）
- ・猫の数＋1個のトイレを用意する（多頭飼いの場合）
- ・トイレは常に清潔に保つ（最低でも1日に1回は掃除する）
- ・猫が好む形状や素材のトイレを選ぶ（屋根付き、システムトイレなど）
- ・猫砂の種類を色々試してみる（ベントナイト、鉱物系、木製など）
- ・子猫や老猫には、出入りしやすい浅めのトイレを選ぶ

トイレの教え方（子猫の場合）

1. 猫が排泄しそうなタイミング（食後や起床後）でトイレに連れて行く
2. トイレに入ったら優しく声をかけ、褒めてあげる
3. 猫が排泄したら、さらに褒めてあげる
4. もし排泄しなくても、無理強いはいしない
5. これを根気強く繰り返す

トイレの教え方（成猫の場合）

1. 猫が排泄した場所のニオイをトイレに移す（ティッシュなどで拭いて入れる）
2. 猫をトイレに誘導し、中に入ってもらう
3. 猫がトイレを使ったら、褒めてあげる
4. もしトイレ以外で排泄してしまったら、徹底的に掃除する（ニオイを残さない）
5. トイレの場所を変えてみる（猫が落ち着ける場所を探す）

トイレトレーニングのコツ

- ・焦らず、根気強く教える
- ・猫を怒らない、叩かない（逆効果になる）
- ・成功したら、ご褒美をあげる（おやつや遊びなど）
- ・トイレの場所を固定する（むやみに移動させない）
- ・猫が安心してトイレを使えるように、環境を整える

失敗時のリカバリー方法

- 1 失敗した場所を徹底的に掃除する（猫のニオイが残らないように）
- 2 消臭剤や猫用洗剤を使用する
- 3 同じ場所で繰り返す場合は、猫が嫌がるものを置く（アルミホイルなど）
- 4 トイレの場所を変えてみる
- 5 猫の行動を観察し、原因を特定する
- 6 獣医さんに相談する（病気が原因の場合）

チェックポイント

トイレトレーニングがうまくいっているか、定期的にチェックしましょう。

- ✓ トイレの場所は適切か（静かで落ち着ける場所にあるか）
- ✓ トイレは清潔に保たれているか（最低でも1日に1回は掃除しているか）
- ✓ 猫はスムーズにトイレに出入りできているか
- ✓ 猫はトイレを嫌がっていないか（警戒していないか）
- ✓ トイレの数は足りているか（猫の数に対して）

✓ 猫砂の種類は猫に合っているか

✓ 猫は健康状態に問題がないか（排泄の様子を観察する）

✓ 猫はストレスを感じていないか（環境の変化に注意する）

これらの項目をチェックすることで、トイレ問題の原因を早期に発見し、適切な対策を講じることができます。

⚠ よくある失敗と注意

トイレトレーニングでよくある失敗例と、注意すべき点をご紹介します。

🐱 猫を叱る

- ・猫は叱られた理由が分からず、混乱してしまう
- ・飼い主さんへの信頼を失い、隠れて排泄するようになる
- ・トイレが嫌いになり、ますますトイレをしなくなる

🐱 無理強いする

- ・猫はトイレを嫌がり、逃げてしまう

- ・トイレに行くこと自体がストレスになり、排泄を我慢するようになる



トイレを頻繁に変える

- ・猫は落ち着いて排泄できなくなり、混乱してしまう

- ・トイレの場所を覚えられず、失敗が増える



猫砂の種類を頻繁に変える

- ・猫は猫砂の感触やニオイに慣れず、トイレを嫌がるようになる



掃除を怠る

- ・トイレが不衛生になり、猫は排泄を我慢するようになる

- ・膀胱炎や尿路結石などの病気になるリスクが高まる



環境の変化に配慮しない

- ・引っ越しや模様替えなどの環境の変化は、猫にとって大きなストレスになる

- ・トイレの失敗が増える可能性があるため、注意が必要

これらの失敗を避け、猫が安心してトイレを使えるように、配慮することが大切です。

1分まとめ

猫のトイレ問題、解決のポイントは？

- ・トイレ環境…静かで清潔な場所、適切な数、猫好みの形状・素材
- ・教え方…焦らず根気強く、成功したら褒める
- ・失敗時…徹底的な掃除、原因特定、獣医さん相談
- ・注意点…叱らない、無理強いしない、環境変化に配慮

猫さんの個性に合わせたトイレ環境を整え、愛情を持って接すれば、きっとトイレ問題は解決できます。猫も飼い主も、快適な毎日を送りましょう。

第4話…ごはんの選び方（年齢・体格・体調）

猫ちゃんとの生活、ごはん選びはとっても大切ですよね。年齢や体格、体調によって最適なごはんを選ぶことで、猫ちゃんは毎日元氣いっぱいにご飯を過ごせます。今回は、そんなごはん選びのポイントをわかりやすく解説します。愛猫の健康のために、ぜひ参考にしてくださいね。

✓ 今日の結論

猫ちゃんの年齢、体格、体調に合わせて、最適なごはんを選びましょう。パッケージの表示をよく確認し、獣医さんにも相談しながら、愛猫にぴったりのごはんを見つけてあげてください。

💡 なぜこの問題が起きるのか

猫ちゃんのごはん選び、意外と奥が深いんです。なぜ年齢や体格、体調によってごはんを変える必要があるのでしょうか。

・年齢による変化 🐱🐱🐱

子猫、成猫、シニア猫と、年齢によって必要な栄養素は大きく変わります。

子猫…成長のために高タンパク質、高カロリーなごはんが必要

成猫…健康維持のためにバランスの取れたごはんが必要

シニア猫…消化しやすく、腎臓に配慮したごはんが必要

・体格による違い

太りやすい猫ちゃん、痩せやすい猫ちゃん、それぞれに合ったカロリー調整が必要です。

肥満気味…低カロリー、高繊維質で満腹感を得られるごはん

痩せ気味…高カロリー、高タンパク質で栄養価の高いごはん

・体調の変化

特定の病気やアレルギーを持っている猫ちゃんには、療法食やアレルギー対応のごはんが必要です。

腎臓病…リンの含有量が少ないごはん

食物アレルギー…特定原材料を使用していないごはん

これらの要素を考慮せずにごはんを選んできると、栄養不足や肥満、体調不良の原因になることがあります。愛猫の健康を守るために、適切なごはん選びが重要なのです。

 具体的なやり方・コツ

では、具体的にどのようなごはんを選べば良いのでしょうか。年齢、体格、体調別に詳しく見ていきましょう。

年齢別

- ・子猫用（0歳～1歳）

高タンパク質、高カロリーなごはんを選びましょう。

消化しやすいように、粒が小さく、柔らかいものがおすすめです。

1日に数回に分けて与え、常に新鮮な水を用意しましょう。

パッケージには「成長期用」「子猫用」と表示されています。

- ・成猫用（1歳～7歳）

バランスの取れた栄養価のごはんを選びましょう。

活動量に合わせて、1日の給与量を調整しましょう。

ドライフードだけでなく、ウェットフードも取り入れると、水分補給にもなります。

パッケージには「成猫用」「総合栄養食」と表示されています。

・シニア猫用（7歳～）

消化しやすく、腎臓に配慮したごはんを選びましょう。

低タンパク質、低リン、低ナトリウムのものがおすすめです。

食欲が落ちてきた場合は、ウェットフードやスープを混ぜて与えましょう。

パッケージには「シニア猫用」「高齢猫用」と表示されています。

体格別

・肥満気味の猫ちゃん

低カロリー、高繊維質のごはんを選びましょう。

満腹感を得やすく、体重管理をサポートする成分が含まれているものがおすすめです。

1日の給与量を減らし、運動量を増やしましょう。

おやつは控えめにし、与える場合は低カロリーのものを選びましょう。

パッケージには「体重管理用」「ライト」と表示されています。

・痩せ気味の猫ちゃん

高カロリー、高タンパク質のごはんを選びましょう。

栄養価が高く、消化吸収が良いものをおすすめです。

1日の給与量を増やし、複数回に分けて与えましょう。

食欲がない場合は、ウェットフードやスープを混ぜて与えましょう。

パッケージには「高栄養」「ハイカロリー」と表示されています。

体調別

・腎臓病の猫ちゃん

リンの含有量が少ない療法食を選びましょう。

獣医さんの指示に従い、適切な療法食を与えましょう。

常に新鮮な水を用意し、水分補給を促しましょう。

定期的な健康チェックを行い、腎臓の状態を把握しましょう。

パッケージには「腎臓ケア」「療法食」と表示されています。

・食物アレルギーの猫ちゃん

特定原材料を使用していないアレルギー対応のごはんを選びましょう。

獣医さんの指示に従い、アレルギーの原因となる食材を特定しましょう。

原材料表示をよく確認し、アレルギーの原因となる食材が含まれていないか確認しましょう。

おやつもアレルギー対応のものを選びましょう。

パッケージには「食物アレルギー対応」「グレインフリー」と表示されています。

新しいごはんへの切り替え方

新しいごはんに切り替える際は、徐々に混ぜる量を増やしていくのがおすすめです。

1日目…新しいごはん1割、今までのごはん9割

3日目…新しいごはん3割、今までのごはん7割

5日目…新しいごはん5割、今までのごはん5割

7日目…新しいごはん7割、今までのごはん3割

10日目…新しいごはん10割

急に切り替えると、猫ちゃんがお腹を壊してしまうことがあるので、注意が必要です。